

この調印、会見の場に参加出来たことを本当にうれしく思っています。一時はどうなるのかという思いもありましたが、道民、市民のみなさんの願いに、いかに応えるのかという立場にたてば、この方向しかないと思いました。市民の風の皆さんをはじめ、各区で野党共闘をすすめる「市民の会」を立ち上げて運動を進めていただきました。全道で声をあげてくださったみなさんに心から感謝を申し上げたいと思います。

北海道での今回の共闘は、大変重要な意味があると思っています。

原点は、去年の五区補選の経験です。しかし、今回の共闘の合意は簡単ではありませんでした。衆議院が解散した28日に「希望の党」に民進党が合流するという報道が流れました。これは、明らかに「野党共闘にたいする妨害」です。厳しい状況になると思いましたが、枝野さんが「立憲民主党」を立ち上げてくれた。そして、北海道の多くの候補の方々が合流されました。この勇気ある決断に心から敬意を表したいと思います。この行動が妨害を乗り越えて、共闘を進めることが出来た重要な条件になったと思います。それにしても、大きな力になったのは市民のみなさんの熱い思いです。心から感謝を申し上げます。

もう1つは、5区は一つの選挙区でしたが、今度は全道12のすべての選挙区での合意です。これは北海道が切り開いた画期的な到達です。全国的にみても、画期的な成果と言えると思っています。この努力と成果を全区勝利に結実させるために全力を挙げたいと思います。

今度の総選挙の一番の争点は、暴走する安倍政権を退陣に追い込むことにあります。みなさん、戦後政治の中で、これほど憲法を破壊し蹂躪してきた政権があったでしょうか。これほど国民の声を無視し続けてきた政権があるでしょうか。自分のお友達の利益を優先して政治を私物化した政権があったでしょうか。どこから見ても戦後最悪の政権です。安倍首相は、解散にあたって「国難突破選挙」と言いました。しかし、みなさん、安倍さんが政権を続けることが「国難」なのではないでしょうか。きっちりとこの総選挙で、国民の審判をくだし、安倍退陣で真の「国難突破」を実現しようじゃありませんか。

もう1つ重大な焦点があります。憲法問題です。自民党は憲法9条の改定を公約に掲げました。「維新の会」も公約に掲げています。「希望の党」も言い始めています。1つの選挙で3つの政党、複数の政党がそろって「9条改憲」を公約に掲げたことはありません。「憲法9条」をめぐってもこの総選挙は重要な意義を持っています。まさに日本の命運をかけた選挙になると思います。

みなさん、今度の総選挙が、「新しい日本を切り開いた決定的な選挙だった」といわれるような選挙にするために、「改憲勢力3分の2体制」を打ち破り、さらに少数勢力に追い込む、そういう結果を出そうじゃありませんか。北海道から「安倍ノー」の「のろし」をあげようじゃありませんか。

共に頑張りましょう！